

建築

トゥルーロは「バースより西部の地域で、ジョージ王朝の最高の建築例が見受けられる町」と言われてきました。市内の壮麗なゴシック風の聖堂、印象的な裁判所の建物、マルパス・ロード沿いの近代的なオフィスブロックなどが混在し、折衷的で見応えのある景観となっています。

主な建物

トゥルーロ大聖堂 Truro Cathedral

トゥルーロ大聖堂は、コーンウォール州の主要なショッピングセンター、オフィス街の中央に市のランドマークとしてそびえ立ちます。天に伸びる壮麗な三つの塔が市内のスカイラインを圧倒します。トゥルーロ大聖堂は比較的新しく、築年 125 年に過ぎません。1880 年 5 月 20 日に、当時のコーンウォール公、後のエドワード VII 世によって、礎石が敷かれました。英国国教会の大聖堂がイギリス国内で建てられることは、600 年以上前の 1220 年に着工したソールスベリー大聖堂以来のことでした。

アセンブリールーム Assembly Rooms

ハイクロス High Cross にある上品な建物。かつては、トゥルーロでのエレガントな催しの会場でした。1787 年建設。建物正面には劇作家シェークスピア Shakespeare、ギャリック Garrick、セーリア Thalia が描かれたウェッジウッドの銘板がはめ込まれています。

刑事裁判所 Crown Courts

セントアイヴズのテートギャラリー Tate St Ives を設計した建築士エヴァンズ&シャレヴ Evans & Shalev による設計。エドワードストリート Edward Street の坂の上、12 世紀のノルマン人の城跡に建てられました。

タウン・ホール Town Hall

クリストファー・イールズ Christopher Eales による設計。1846 建設。トゥルーロ市議会の開かれる市庁 Municipal Buildings、コーンウォール劇場 Hall for Cornwall、ツーリスト・インフォメーションセンターがあります。

コイネッジホール Coinage Hall

現在の建物は 1848 年にコーニッシュ銀行 Cornish Bank として、コイネッジホール跡に建てられました。コイネッジホールは、年に二回、地元で採掘された錫を検査・課税する場所でした。

ウォルシンガム・プレイス Walsingham Place

ヴィクトリア・スクエア Victoria Square から横に入った静かなウォルシンガム・プレイスを散策してください。桂冠詩人ジョン・ベチェマン John Betjeman がこよなく愛した場所です。この美しいジョージ王朝のテラスは、フィリップ・サムベル Philip Sambell による設計とされています。

レモン・ストリート Lemon Street

ジョージ王朝時代の美しい建築が立ち並ぶレモン・ストリートは、ファルマスからの郵便馬車クイックシルバーがトゥルーロ市内に入りやすいように造られました。

地理

コーンウォール州の行政都市トゥルーロは、ビジネス・観光を基盤とする豊かなコミュニティーを誇ります。また、州内で最も多くの貨物を扱っており、港町として今も栄えています。

トゥルーロ **Truro** の名は **Tri-veru** (三つの川) に由来すると言われていています。ケンウィン川 **Kenwyn**、アレン川 **Allen**、ティニー川 **Tinney** の三つの川がトゥルーロ川 **Truro River** となり、キャリックローズ川 **Carrick Roads** とファル川 **River Fal** に流れ込みます。

これらの川はほとんど通りの下に隠れていますが、アレン川の一部は大聖堂の裏とセントメアリーズ・ストリート **St Mary's Street** で見受けられ、ケンウィン川はヴィクトリア・スクエア **Victoria Square** とレモン埠頭 **Lemon Quay** の下を流れます。

川の流域は盆地となっており、かなりの傾斜がトゥルーロを囲んでいます。早期には洪水がよく起こり、最も最近の洪水は **1988** 年のことでした。人々は小さなボートに乗せられてヴィクトリアスクエアの店やオフィスに行きました。

以来、ケンウィン川のニューミル **New Mill** でのダム建設、ボスカウエンパーク **Boscawen Park** 近くのトゥルーロ川での防波堤など、洪水防止措置が市の周辺でとられました。

歴史

トゥルーロでは何世紀にもわたり民族が定住してきました。ケルト民族の村として始まり、**12** 世紀にはノルマン人の集落ができ、現在の刑事裁判所のある丘に城を建てたと考えられています。

その後トゥルーロは、錫鉱区の町として、地元で採掘された錫の質を検査・承認する地点となりました。検査を受けた錫は川を下って町から運び出されました。

トゥルーロは雑踏であふれる港町でもありました。現在のレモン埠頭は埋め立てられ、人々で賑わう場所となりましたが、かつては船舶がここに停泊していました。船が港に着くと、人々は貨物を下ろすため、町のあちこちの横道から走り出てきたそうです。

18世紀末から19世紀始めにかけて錫の価格は急速に上昇。トゥルーロに居を構えることにした富裕な錫鉱所有者が、エレガントなタウンハウスを建設し、そのうちの何軒かを今も見ることができます。

トゥルーロの著名人

リチャード・ランダー Richard Lander

アフリカのニジェール川の源を求めて弟のジョンと探検。トゥルーロの中学校の一つが彼に因んでリチャード・ランダー・スクールと名付けられています。

ハンフリー・デイヴィー Humphrey Davey

ペンザンス生まれ。トゥルーロで教育を受けました。坑夫のための安全ランプの発明で知られています。

サー・ウィリアム・レモン Sir William Lemon

錫鉱業界の有力者。コーンウォール州を代表する議員。レモン・ストリート **Lemon Street** 建設のために土地を寄贈しました。